

よって玉名市へ



地勢

本市は、熊本県北西部に位置し、南北の距離は約17km、東西は約14.5km、市域の面積は約152平方キロです。有明海、菊池川、小岱山と金峰山系の山々などの豊かな自然や多数の古墳が点在するなど、数多くの歴史的資源に恵まれています。また、米やトマトをはじめとする野菜、いちごやみかんなどの果実類の農産物、ノリやアサリなどの水産業が盛んです。市の北部、小岱山の麓には1300余年の歴史と泉質の優秀さを誇る玉名温泉、一方、市の南部、有明海を望むみかん園の丘にある小天温泉は、文豪・夏目漱石の名作「草枕」の舞台として広く知られています。

本市は、熊本都市圏と福岡都市圏の中間に位置し、JR鹿児島本線や九州縦貫自動車道、有明フェリーなどを近隣に有し、交通の便に恵まれた地域です。さらには玉名市民はもとより熊本県北地域の長年の悲願でありました九州新幹線が、平成23年3月12日に全線開業しました。そして本市に「新玉名駅」が誕生して周辺整備が進められています。



新幹線開業により新玉名駅から博多まで40分、鹿児島まで1時間、大阪までは3時間半で結ばれ、県北地域にとって九州管内はもとより関西圏が日帰りできるエリアとなり、本市の存在が大きく高まっております。この開業を機に、広く多くの方々に玉名市の魅力を発信するとともに、山鹿、菊池、阿蘇地域との連携による立地条件を活かした観光振興や、まちづくり推進での総合的な発展が大いに期待されています。

玉名市へのアクセス

鉄道	東京～博多（新幹線利用）6時間 名古屋～博多（新幹線利用）4時間20分 広島～博多（新幹線利用）1時間30分 大阪～玉名（新幹線利用）3時間30分 博多～玉名（新幹線利用）40分 熊本～玉名（新幹線利用）10分 鹿児島中央～玉名（新幹線利用）60分
-----------	--

航空	東京～熊本 1時間30分 名古屋～熊本 1時間20分 大阪～熊本 1時間5分 ※熊本空港～玉名45分（高速道利用） 1時間10分（JR・バス利用）
-----------	---

バス	博多～玉名 1時間45分 長崎～玉名 2時間30分（フェリー45分を含む） 熊本～玉名 40分（熊本交通センターから玉名行き）
-----------	---

自家用車	菊水ICから車で約15分 熊本駅から車で約40分 熊本ICから車で約40分 熊本空港から車で約1時間15分 阿蘇から車で約2時間
-------------	--

お問い合わせ ■JR玉名駅（電話0968-73-5855）
■九州産交バス玉名営業所（電話0968-57-0100）
■熊本交通センター（電話096-325-0100）



新幹線の新玉名駅の特徴は？

自然・光・リズム～森の中の駅～

森の中の駅をイメージするという玉名市の提言書を基に『木立』を意識した温かみのあるデザインです。中央部はガラスの壁面からたっぷり外の光を取り入れ、鉄骨の柱を木質の内装材ではさみ、リズミカルに木立のような柱が並ぶデザインです。出入口部は「石橋」の雰囲気のどっしりとした門構えと、その上に「すだれ」を下ろしたイメージの外装とし、おもてなしを表現しています。端部は地域の歴史のひとつである「蔵」を意識した外観です。

※世界的な鉄道デザイン評価会「第11回ブルネル賞」で新玉名駅が最高賞のブルネル賞に次ぐ奨励賞に選ばれました。



先人たちの歩みを受け継ぐ



節頭馬奉納(繁根木八幡宮)

歴史

玉名地方の歴史は古く、阿蘇外輪山の北西斜面に源を発する菊池川が有明海に注いだことから、縄文時代から天恵の地となり、縄文、弥生、古墳時代には貝塚や古墳、環濠集落が点在していました。

日本書紀には「玉杵名(たまきな)」の里として名を残しています。平安時代には「たまいな」と呼ばれ現在の玉名になったと考えられています。

古くから開けた玉名には、由緒ある祭りが多く伝え残されています。伝統ある祭りの他、風俗的行事や、儀式も受け継がれ、海にまつわる祭事など、里と海が一体になっている多彩な祭りが受け継がれています。

高瀬目鏡橋(県指定文化財)

高瀬目鏡橋は、港として発展した高瀬の物資の揚げ降ろしが行われた菊池川支流裏川に嘉永元年に架けられた橋です。



梅林天満宮流鏑馬奉納



大浜年紀祭



国的重要文化財「旧玉名干拓施設」

玉名地域は歴史文化の宝庫であり、古代から中世、近世に至るまでの日本史が凝縮されています。これは玉名地域の風土の大きな特性です。

菊池川がもたらす水運と、豊かな土壤に恵まれていたため古くから人が住み、全国的にみても菊池川流域には装飾古墳が集中して見られ、往時から豊かな暮らしぶりが伝わってきます。出土品の中には、朝鮮半島由来の耳飾り、装飾品などが見られ、海外との交流もうかがえます。また、日本書紀には景行天皇行幸の地として記載があります。

玉名温泉街がある立願寺には、7世紀後半、郡の役所や倉院が置かれ、港までの官道も整備されていました。高瀬や伊倉の港は、時代の変遷とともに、貿易拠点として栄えており、中国や東南アジアとの交流も盛んで、キリストian宣教師も滞在しています。ポルトガルの

大砲もここで陸揚げされるなど国際交流の拠点ともなりました。江戸時代に入ると、菊池川上流の良質の菊池米は、高瀬から大坂(現:大阪)まで運ばれ、高瀬米として米相場を左右したほどだったと伝えられています。俵ころがしや、高瀬商人たちの商家の裏にある高瀬裏川には当時の石橋や石垣が今も残り、多くの遺跡に、繁栄の跡が残っています。

西南戦争の際には、高瀬で激しい戦いがありました。熊本城を包囲した薩軍が、精銳を高瀬へ向け、熊本城へ救援に向かう官軍を迎撃しました。薩軍の主力は官軍と菊池川を挟んで激突し、薩軍が最も北に進んだのはこの菊池河畔の戦いで、この日以降は守勢にまわり、実質的には西南戦争の「関ヶ原」となる戦いがこの地で繰り広げられました。



もっと教えて! Q&A

玉名の歴史を詳しく学ぶ場所はありますか?

歴史博物館こころピア

かつて菊池川を中心とした港町として、隆盛を続けた玉名。そんな過去の歴史を見つめ、河のまち玉名を再発見することにより、未来の発展へつなげることが、当館の大切な使命だと考えています。展示は、この基本的な考え方に基づき「河とともに発展した玉名」をテーマに、常設展示を中心とした企画展示や映像によって構成されています。



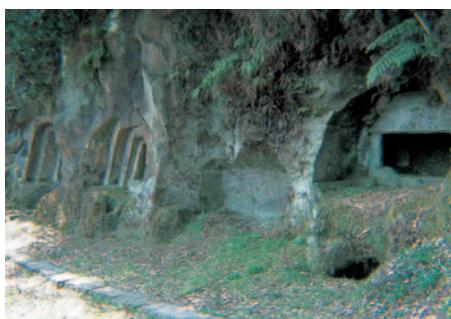
横島干拓の歴史

加藤清正が肥後入国の翌年から干拓事業に取りかかり、数々の難工事を伴い、人柱の伝説を残しながら次代の細川氏、明治に引き続き、昭和には国営事業となった有明海干拓の歴史。大浜町末広開、横島町明丑開・明豊開・大豊開の各潮受堤防4基と、大浜町末広開の樋門3基から構成。いずれも明治20年代から40年代に築造。7基あわせた旧玉名干拓施設が国の重要文化財に指定されています。



高瀬御蔵・高瀬船着場跡(俵ころがし)

中世、高瀬津と呼ばれ、海外渡航や海外貿易などで早くから重視され、南北朝時代には港の体裁が整い、室町時代には本格的な港になりました。江戸時代は米の集積地として栄えたことから、現在は当時を偲び重さ1,000kgの大俵転がしが祭りとなっています。



石貫ナギノ横穴群(国指定文化財)

玉名市の石貫地区、繁根木川に沿った丘の斜面に48基の横穴がグループをつくって東に向いて並んでいます。古墳時代終わり頃に築かれた共同墓で、あざやかな装飾が残っています。



観光



玉名温泉

玉名市の中心地に湧き出る玉名温泉は、今からおよそ1300年前に疋野長者が発見したとされる伝説のある温泉です。古くからリウマチ、神経痛などに効能がある湯治場として知られていました。温泉の歴史については、天保14年(1843)の正月、立願寺村庄屋赤松市郎平が、初夢で、疋野長者のお告げを受けて掘り当てたとされています。当時は「疋野温泉」と呼ばれました。明治、大正と堀削され、新しい泉源を競って探すようになったようです。やがて「立願寺温泉」の名が定着していき、湯治場という性格のものから、歓楽温泉街へと発展していきました。最盛期には100人もの芸妓が登録しており、戦後の三井三池炭鉱、石炭ブームにより、施設改善や観光客誘致が進められ、新興温泉地として声価を高めます。旧・玉名市の誕生と、駅名が、高瀬駅から現在の玉名駅へ変わるとともに、「玉名温泉」と改め、飛躍的な発展を遂げました。



しらさぎの足湯

温泉街のほぼ中央「立願寺公園」内にある広々とした緑豊かな足湯。地域の交流の場となっています。



温泉街

温泉街のほぼ中央「立願寺公園」内にある広々とした緑豊かな足湯。地域の交流の場となっています。

魅力いっぱい、玉名の旅

夏目漱石ゆかりの温泉「小天温泉」

「僕は日本流の旅行がしてみたい、小天行きなど思い出す…」漱石は熊本時代に小天温泉へ旅をしました。その後「山路を登りながら、こう考えた。智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい。住みにくさが高じると、安い所へ引き越しだくなる。」で有名な代表作「草枕」に結実しました。



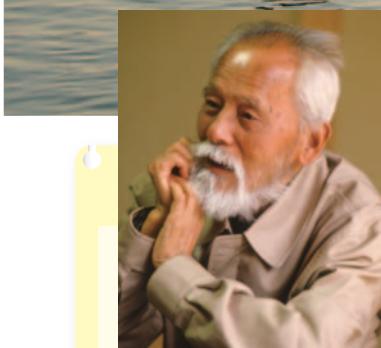
前田家別邸

小説「草枕」の舞台。今も漱石宿泊の離れと浴場が保存されています。



小説「草枕」誕生の地

明治を代表する文豪・夏目漱石は、かつて英語教師として熊本で4年余りを過ごしました。明治30年の大晦日には小天温泉を訪れ、地元の名士・前田案山子の別邸に泊まり、この天水で過ごした旅をもとに、名作「草枕」が生まれました。夏目漱石は年の暮れから、天水の小天温泉へ旅に出ますが、草枕の季節では春。主人公も小説家や俳人ではなく、画家という設定になっています。その画家が人生について切々と考えながら、坂道を登っていきます。那古井の里に着いた画家はそこでちょっと変わった女性、那美さんや志保田家の髭のご隠居に出会うというストーリーです。



日本のおじいちゃんって誰のことですか?

笠智衆さん

玉名市天水町(当時玉水村)立花の来照寺に生まれました。旧制中学(現高校)までをこの地で過ごした後上京、映画界へ。以来、映画の歴史とともに歩み、生涯を俳優として活躍されました。

もっと教えて! Q&A



玉名市マスコット
「タマにゃん」

四季

色彩豊かな玉名の自然の恵み。

心を打つ四季の楽しみは、

その時期、その場所ならではの感動。

自然・祭・特産まで、玉名には四季を通して

一級品の感動があふれています。

菊池川水運の要所であった高瀬裏川には当時の面影が残る石橋や石垣、商家があります。その歴史的遺産と見事に溶け込んだ花しょうぶ66,000本が咲き誇り初夏の風情を醸し出します。開花時期には夜間のライトアップやさまざまなイベントもおこなわれます。

高瀬裏川
花しょうぶまつり
(5月下旬～6月上旬
メインイベントは6月
第1土曜日)

春

山田の藤
(4月中旬～5月上旬)

玉名納涼花火大会
(8月第1金曜日)

蛇ヶ谷公園の桜
(3月下旬～4月上旬)

「玉名歳時記」

花の恵

水の恵
夏

玉名大俵まつり
(11月23日祝日)

祭の恵
秋

暖の恵
冬

横島町いちご
マラソン大会

金栗四三

明治24年(1891)玉名郡春富村(現・和水町)生まれ。日本のオリンピック初参加の国内予選会で2時間32分45秒を記録、当時の世界記録を27分も縮める大記録を達成。その後は箱根駅伝を創設するなど「マラソンの父」と呼ばれています。



もっと教えて! Q&A



玉名市マスコット「タマニちゃん」

玉名ラーメン
玉名ラーメンは、濃厚な豚骨の白濁スープで熊本ラーメンのルーツと称されています。



玉名の名物って何がありますか?

玉名ブランド認定品や玉名ラーメンなどがあります。

玉名ブランド認定品とは、玉名地域の歴史、文化、自然等の「玉名らしさ・こだわり」が感じられ且つ安全・安心・健康と地産地消を踏まえた商品を、学識経験者などで構成された玉名ブランド認定審査委員会の審査を経て認定された商品です。



たまなイベントカレンダー

- 1月17日 シシ食い祭り
- 1月第3日曜日 玉名市民音楽祭
- 2月最終日曜日 横島町いちごマラソン大会
- 3月3日～4日 玉名市初市
- 3月第1日曜日 玉名ハーフマラソン大会
- 4月中旬 伊倉南北八幡宮 春季大祭

- 5月 グレン・ミラー音楽祭
- 5月下旬～6月上旬 高瀬裏川花しょうぶまつり
- 7月上旬 鍋松原海水浴場海開き
- 7月最終日曜日 大野下雨乞い奴おどり
- 8月第1金曜日 玉名納涼花火大会
- 10月15日 小天神社火の神祭り
- 11月 3日 蓮華院誕生寺奥之院大祭
- 11月25日 梅林天満宮大祭(流鏑馬)

花ごよみ

- 1月下旬～2月中旬 盆梅展(蓮華院誕生寺奥之院)
- 2月～3月中旬 てんすい桜(草枕温泉天水)
- 3月下旬～4月上旬 桜(蛇ヶ谷公園)
- 4月下旬～5月上旬 山田の藤(山田日吉神社)
- 5月 つつじ(蛇ヶ谷公園・桃田運動公園)
- 4月下旬～5月中旬 みかんの花(天水・小岱山一帯)
- 5月下旬～6月上旬 花しょうぶ(高瀬裏川一帯)
- 6月 あじさい(げんやま展望公園)
- 11月 紅葉(小岱山一帯)
- 11月 ハゼ並木(菊池川右岸)

